

【全日本予選実施に向けて】

1 予選における注意事項について

(1) 応援団人数

保護者参観は、チーム関係者であれば、制限はなし。ただし、感染対策は、各チームで引き続き行う。

控室の条件なども含め、会場チームの制限に合わせる。

(予選は上限30人程度、都大会は50人程度を目安とすることにご協力お願いいたします。)

●入館者は、チーム ID は携帯する。(大会の周知事項を認識しているという証明・不審者対策)

(2) 感染対策について

○マスクについては、個人の判断に委ねることとする。(選手・指導者・保護者)

※ただし、声を出して応援する場合は、マスクを着用する。

※チーム内で感染者が複数出た場合や今後、感染拡大があった場合は、マスク着用を求めることもある。

・入館時→各チームで健康観察をする。(会場チームへの提出物はなし)

・試合時→ベンチやモップ、記録席でのボールの消毒は強制しない。

・試合時の舞台上のもてなしは、なし。

・各チーム、トイレに行く際は、タオル持参。

(3) 応援について

・太鼓やペットボトルなどの鳴り物、特大メガホンは、ゲーム運営に支障をきたすため禁止。(予選・都大会)

2 競技方法について

一日を通しての試合は可能であるが ○昼食時には、向かい合って食べない ○控え室などでは、大きな声で話さない 等
各チームのご協力をお願いします。

①テクニカルタイムアウトは、7点、14点(3セット目 8点)

デュースの際は、両チームが 25 点(3セット目は 21 点)になったときに適応。以降は、7点おきにとる。

②選手の荷物は、個別にしなくてもよい。

③ベンチの椅子は、3脚

3 その他

①集合時間、集合場所について

※早く着いてしまった場合は、体育館付近にいずれ離れたところで待つ。

近隣の方に迷惑になり、会場チームに苦情がいくことのないようにする。

②引き続き、選手や保護者の体調管理は、各チームで責任をもって行う。

お互いが気持ちよく試合ができるように、協力し合いましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

今大会における競技・審判上の共通注意事項

1. 入館・受付

- ・応援者全員が ID カードを携帯し、首から提げること ●持参物→チーム名板(A4・得点板掲示用)

2. エントリーの変更について

- ・大会初日の受付時に変更があることを告げ、変更用紙を記載の上、試合開始前までに競技本部役員へ提出すること。
- ・2日目以降はエントリー変更はできない(ベンチ役員も)
- ・都大会初日、正規の監督が不在の場合はその日に限りコーチ及びマネージャー(成人)が監督の代理をすることができる。ただし、受付時に競技本部へ代理監督申請を提出する。

3. 帯同役員

- ・各チーム帯同役員を決めておくこと
- 【競技】試合当日、チーム入館時に入場し、コート設営等を手伝う。
- 【審判】チームが審判の担当の際には、ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・スコアラーもしくはスコアラーの補助(ボール拭き等)を行う。試合終了後には役員の指示により片付け作業を手伝う。

4. 補助役員

- ・各チームはラインジャッジフラッグを用意し補助役員時に使うこと。
- ・補助役員(ラインジャッジ・点示)にあたる際は飲料水(ペットボトル不可)を持参し、セット間等に水分補給を行なうこと。

5. 服装について

- ・ベンチ役員は統一されていること(Tシャツ・短パンは認めない)
- ・子どもがベンチスタッフの場合、Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なった色でもよい。
- ・監督、コーチ、マネージャー章は必ず左胸に着用する
- ・選手の服装はルールに準ずる

6. 会場での行動

- ・公共施設や学校などの御厚意でお借りしている場所であることをわきまえ使用上の注意を十分に守ること。
- ・選手の着替えは各会場で定められた更衣室を使用し、保護者が付き添うこと。
- ・各チームの横断幕の掲出は試合時のみとする。(都大会)

7. コートでの練習

- ・フロアでの練習は登録されたベンチ役員と選手のみとする。
- ・試合間の練習はボール使用しても良いがネットは使用できない。
- ・壁に向けてのボール打ちは禁止する。

試合前の練習について

○予選時

会場に集まったチームで、練習方法を相談する。必ずしも、全体でサーブやスパイクを行わなくてもよい。

○都大会時

試合前のコート使用は、試合チームのみとする。(試合間は15分とする)

8. 試合時の行動

- ・選手は試合中、ワイピングタオルをコート内の選手が1名以上持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。
- ・ベンチは3脚のみとし、控え選手はウォーミングアップエリアで待機すること。
- ・テクニカルタイムアウトは給水のための時間とし、選手は各自飲料水が用意された場所(ベンチ横)で水分補給を行ない、戦術的なタイムアウトではないので、話しかけたいときは、ベンチスタッフが出向くこと。
※給水が実施されていないと審判員が判断したときには声掛けを行なう場合がある。
- ・各セット終了時、コート内の選手はエンドラインに整列後、コートチェンジを行い、控え選手とベンチスタッフはチームの荷物を持ちコートチェンジを行う。

○試合前後の挨拶(全国大会に合わせる)

- ・**試合開始時**・・・選手はエンドラインに整列し、挨拶を行う。
- ・**試合終了時**・・・選手はアタックラインまで行き、お互いに拍手をする。
※ファーストレフリーは、拍手終了の合図をする。(ハンドシグナルや声かけ等)

【審判員】

○ホイッスル

- ・**通常のホイッスルを使用する際は、その上にマスクを着用する。**

○電子ホイッスル使用時の注意点

- ・接続するコートでの使用の際には音色に注意 ・両チームが聞こえるように長めにホイッスルをする
- ・プレーが止まらない場合には再ホイッスルやネットを揺らす等、工夫し必ず止める

9. その他

- ・試合の状況により、競技を行なうコートを入れ替えることがある。
- ・試合が連続する場合もしくは補助役員担当後に試合がある場合には、試合間を**最大15分空けることができる。**
- ・ベンチでのうちわの使用はタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみとする。

競技・審判に関してお気づきのことがございましたら競技・審判各委員長へお問い合わせください。

大会当日については当日の会場責任者の指示に従ってください。

感染症対策については今後の状況により、変更の可能性もあります。